

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター セレン学園

公表日 2026年 2月 25日

利用児童数 37名

回収数 30人 (81.1%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	2		1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	2	1	2	OT PTなど専門職の人数が少ないと感じている。	配置基準よりも多い職員を配置しております。保育士の他にOT、PT、ST、心理職、看護師等の専門職が在籍しております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	1		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	29			1		
適切な 支援 の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	3		1	待つのが苦手な子や声を出してしまう子など色々な特性を持った子どもが利用していて、できることになりバツキがあると感じるが活動は皆同じなことが多い(集団を学ぶ意味では利点があるが...) 声かけや対応にも専門性を欠いている時があると感じる。	当センターでは、集団での経験を通して、さまざまな特性をもつお子さま同士で、できることになりバツキが切り替え、コミュニケーション力を育てていくことを大切にしています。一見同じ活動に見える場面でも、一人ひとりの特性やペースに応じて、課題の難易度や量、支援の入り方、声かけの方法を調整しながら取り組んでおります。ただ、ご指摘のように、支援者の対応にばらつきが見える場面や、専門性が十分に伝わらなかった場面があったことは、真摯に受け止めております。お子さまの安心と成長につながるよう、職員間の情報共有や研修の充実、支援の統一性の向上に一層努めてまいります。いただいたご意見は、今後の支援をより良くしていくための大切な声としてスタッフ全員で共有し、改善に活かしてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	2		2	個別療育があるとパンフレットやネットには記載されていたが、実際はかなり頻度は少ない。	お子さま1人1人の必要性に応じて専門職による個別療育を組み合わせ提供しております。今後必要なお子さまに支援がいきわたるよう、個別療育を行う部屋や時間の見直しを行ってまいります。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	29	1				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	1				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	1		2	活動プログラムはよく考えてやっているのだなと感じることが多い。	今後もお子さまの成長につながるプログラムを考え、様々な経験ができる様工夫を行ってまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	24	4	2		もう少し他施設の子供達との交流があるといい 地域との交流を増やして欲しいです。	今年度初めて地域のグループホームとの交流を行いました。また、地域の消防署と連携し、避難訓練等を実施しております。今後さらに地域の資源を活用する機会を設け、地域との交流を増やしていく予定です。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	2		1			
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30						

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センター セレン学園					公表日	2026年 2月 25日				
					利用児童数	37名		回収数	30人 (81.1%)		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
保護者 への 説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	6	3	4	ペアレント・トレーニングはないですが、保育参加や保護者会などで情報を得ています。	来年度はテーマ別の座談会等を企画しており、更に情報提供の機会や保護者向けの学びの機会を設けていく予定です。また、HUGを活用し、小学校のオープンスクール、説明会などの情報発信を行っております。			
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	3	1	1		半年に一度以上面談を実施しており、共通理解に努めております。支援の見学は随時受け付けております。また、HUGを活用し、いつでも職員と相談や連絡が取れる環境作りに努めております。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	5		2					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	4		1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	9		6	きょうだい向けのイベントは開催されているかはわかりません。情報交換のためにも懇談会の回数と時間を少し増やして欲しいです。保護者会の回数が少ないので、なかなか交流が出来ない。	今年度は年に2回の保育参加、1回の保育参観、3回の懇談会を実施いたしました。夏祭り等のイベントはご家族様皆さままでご参加いただきましたが、きょうだい向けのイベントの開催は実施できていないため、今後検討してまいります。			
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	2	1	3		ご家庭でのお困りごとやお子さまの素つに関する相談の受付は随時行っております。相談・申入れ等ございましたらお気軽にお問い合わせください。			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	2	1	2		電話やHUGにていつでもご連絡が取れるよう体制を整えております。また、外国籍の利用者様用に多言語でお便りを作成するなどの配慮を行っております。			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	1	1	2		毎月セレンだよりの発行を行い、園内の情報を発信しております。また、適宜保護者の方に有益な情報をHUGを通して発信しております。自己評価はホームページにて公開しております。			
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	2		2						
非常時 等の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	2		1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29			1					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	3		2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	1		5					
27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	1		1	言葉が話せないのははっきりとわかりませんが、嫌がらず通っているのが安心しているのかなと思います。	今後もお子さんが安心して通ってもらえるよう努めてまいります。				

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター セレン学園

公表日 2026年 2月 25日

利用児童数

37名

回収数

30人 (81.1%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	3		1	言葉を話せないのではっきりとわかりませんが、笑顔でのご様子なので嫌ではないと思います。	お子さまが楽しくセレン学園に通い、成長につながるよう、職員一同で活動プログラムの充実や支援の質の向上に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	2		1	支援内容は、とても満足していますが、預けられる時間がもう少し伸びると、仕事がしやすくなるので、助かります。	引き続き、お子さまや保護者に満足いただける支援を提供できるよう努めてまいります。 支援時間に関しましては、お子さまの生活リズムやご家庭での時間も大切にしたいという考えのもと、現在の支援時間を設定しております。 また、児童発達支援センターは「長時間お預かりする」ことを目的とした施設ではなく、お子さまの発達を支えるための専門的な支援時間を提供する場として位置づけられています。 お子さまが無理なく参加でき、ご家庭での時間も含めて良い生活リズムが保てるよう、現在の利用時間を設定しております。